

# J A P O S

## 日本公開天文台協会回報

JAPOS: Japan Public Observatory Society Circular  
Number 11 (2010.2.17号)

### 目次

【速報】最近の太陽活動 (成田 広)

1

\*\*\*\*\*

### 【速報】最近の太陽活動

多摩天体観測所 成田 広

\*\*\*\*\*

昨年 12 月黒点相対数の増加が見られ年明けに下降しなければいよいよ上昇期に入ると思いながら新年を迎え 1 月も過ぎ結果が出た。

相対数は 12 月の 15.4 に対し 1 月は 17.5 に増加し出現黒点も増加した。1 月の 6,7,8 日は無黒点だったがそれ以外は黒点が見られた。

活動の遅れている南半球も出現があり半影黒点周辺には白斑、 $H\alpha$  ではプラージュが見られ黒点 No.1040 北群は C 級 (小規模) フレアーが 2 日~18 日までに 10 回あり更に 19 日 20 日黒点 No.1041 南群 (D~E 型) には C 級 18 回、M 級 (中規模) 7 回あり連続出現した。

昨年 10、12 月より賑わした。また 10 万 km 以上の高いプロミネンスは 12 月 9 回あり最高は 8 日の 29 万 km 1 月は 7 回、最高は 17 日の 24 万 km であった。

MLSO、SOHO 画像と日本の宇宙天気情報など上昇期には太陽磁場、太陽風、X 線、フレアー活動の動向が見逃せない。

=====

#### 1 月のフレアー ひので画像と解説

2 日	UT	7 : 00	C1.0	NO	1040
		14 : 00	C2.6		
		22 : 23	C3.2		
3 日		1 : 05	C2.0		
4 日		3 : 35	C1.4		
9 日		15 : 00	C1.0		
12 日		13 : 00	C1.1		
15 日		8 : 00	C1.3		
17 日		22 : 12	C2.1		
18 日		20 : 15	C5.0		

19日	8:12	C5.3	NO 1041
	8:59	C5.1	
	13:02	M1.4 (中規模)	
	13:33	M2.3	
	15:32	C2.4	
	17:21	C5.2	
	18:41	C3.3	
	19:05	C2.0	
	20:20	M1.7	
	22:23	C4.5	
	23:16	C2.3	
20日	0:09	C4.0	
	4:48	C5.0	
	6:09	C3.9	
	6:43	C9.7	
	7:22	M1.0	
	7:41	M1.7	
	9:12	C3.8	
	10:19	M1.9	
	12:27	C4.0	
21日	1:01	C4.9	
	3:37	C2.3	
	10:41	C1.2	

#### 1月の高プロミネンス SOHO 画像

11日	UT	13:20	噴水型	11.5万km
12日		19:20	変形型	10万km
15日		19:20	変形型	21.5万km
17日		7:20	複雑型	24万km
20日		7:19	キノコ型	10万km
24日		1:19	ループ型	10万km
27日		16:19	複雑型	11万km

#### 太陽画像から得られたこと

- 1 太陽を H $\alpha$  望遠鏡で見たときより H $\alpha$  画像の方がより鮮明に見られる。
- 2 太陽無黒点、無白斑であってもカルシウム K、H 線、X 線、極紫外線画像で活動領域がみられる。
- 3 太陽白色画像 1 日分 4~5 回連続でみると A~B 型黒点が出現後数時間後に消滅し再び同じ位置に同じ型で出現することがある。
- 4 極紫外線画像において東出黒点 1~2 日前に活動領域現われ、黒点出現がわかる。

- 5 黒点が消滅するとき、マグネットグラム画像のその部分が散開してくるので1日前に判る。
- 6 フレアーの出現は太陽の測側に多く、夕方から夜中及び朝方に多く日中は少ない。
- 7 半影黒点、中型から大型黒点は太陽裏側で発生し東側出現する。

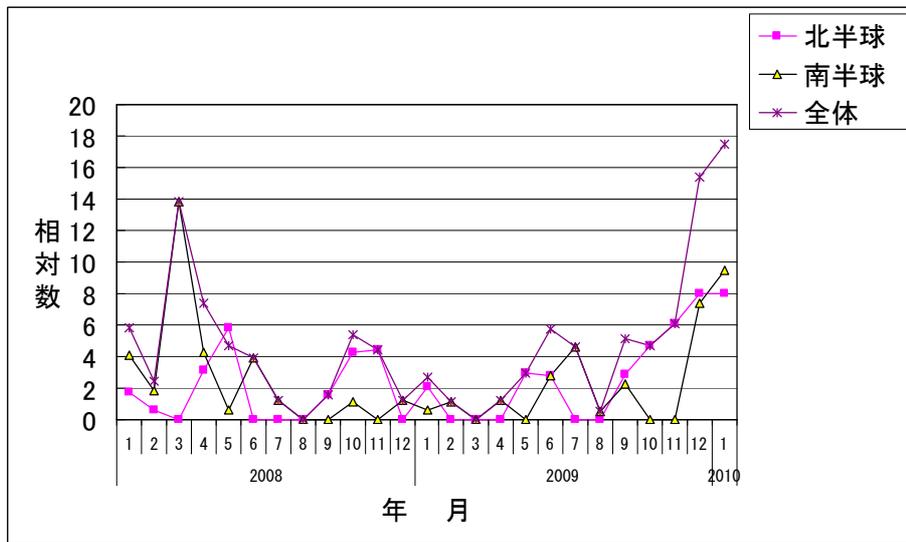


図 太陽黒点毎月平均相対数

年	月	北半球	南半球	全体
2008	1	1.7	4.1	5.8
	2	0.6	1.8	2.4
	3	0.0	13.8	13.8
	4	3.1	4.3	7.4
	5	5.8	0.6	4.7
	6	0.0	3.9	3.9
	7	0.0	1.2	1.2
	8	0.0	0.0	0.0
	9	1.6	0.0	1.6
	10	4.3	1.1	5.4
	11	4.4	0.0	4.4
	12	0.0	1.2	1.2
2009	1	2.1	0.6	2.7
	2	0.0	1.1	1.1
	3	0.0	0.0	0.0
	4	0.0	1.2	1.2
	5	3.0	0.0	3.0
	6	2.8	2.8	5.7
	7	0.0	4.6	4.6
	8	0.0	0.5	0.5
	9	2.9	2.3	5.1
	10	4.7	0.0	4.7
	11	6.1	0.0	6.1
	12	8.0	7.4	15.4
2010	1	8.0	9.5	17.5

表 2008 年以降 太陽黒点毎月相対数

\*\*\*\*\*

## 編集後記&原稿募集

回報第11号を発行します。今回は最近活発化してきた太陽活動を、速報という形でお送りいたしました。普段よりもより速報性を重視したため、数字の配列など読みにくい点が残されているかもしれませんが、どうぞご容赦ください。

さて、昨年の回報発行新体系スタートを受け、現在の編集方針もだいぶ定着してまいりました。皆さまのご協力に感謝します。前号(回報第10号)以降おおむね秋ごろまでの回報については、来年度全国大会集録に掲載予定です。

皆様の投稿はどのように印刷物として残ります。観測研究はもちろんのこと、身近な話題や情報、事例などお気軽に投稿してください。回報第12号は、これまで同様、皆さまからの投稿があり次第の発行となります。世界天文年を振り返った報告、事例といった投稿なども引き続きお待ちしております。

尚、原稿の募集に際しては、編集委員会から寄稿のご依頼をすることもあるかもしれません。その際には是非、ご協力いただければ幸甚に存じます。

## 記事投稿先

fukuzumi@yacht.ocn.ne.jp (写真貼り付けなどで1Mbを超える場合は左記宛別途ご相談下さい。)

## 編集委員

編集委員長：福澄孝博、編集委員：船越浩海(編集委員募集中!)

\*\*\*\*\*